

■分析と今後の指導上の工夫 1学年

○良好なもの ●課題が見られるもの

宇都宮市平均と比較し、特徴的であると思われる項目を本校の課題ととらえて分析した。

○「いろいろな教科の学習は将来のために大切である」と肯定的にとらえている生徒の割合が、ほとんどの教科で市の平均を上回っている。学習は大切だという意識を学力向上につなげたい。

○いろいろな人にあいさつができたり、話し合い活動に進んで参加し、自分の考えを広めたりできている生徒が多い。今後も、自分の考えを深めたり、広められるよう授業等を通してコミュニケーション能力をつけさせたい。

○交通ルールを守ることや不審者から自分の身を守るなど、自分や身の回りの安全に関する意識がどれも市の平均を上回っている、今後、さらに意識が高まるよう指導していきたい。

○学習における授業への取組や学習に対する気持ちや態度などにおいて肯定的に高い割合を示している。一方、学習の仕方や家庭での学習の仕方など取組について肯定的な割合が低い。今後さらに「家庭学習の手引き」を活用するなど、授業内容の定着を図る学習の仕方を身に付けられるよう指導していきたい。

●学習に対して、自分から進んで取り組んでいる生徒の割合が市の平均を下回っている。また、授業で習ったことをその日のうちに復習したり、自分で計画を立てて家庭学習に取り組んでいる生徒の割合も市の平均を下回っている。保護者会等を利用して家庭学習の充実に向けての理解と協力を得て、学校と家庭が一体となった望ましい家庭学習習慣の定着に向けて取り組んでいきたい。

●世の中のことへの興味・関心が低い傾向にある。社会に目を向け、関心を持つことで、わからないことを自分で調べ、解決しようとする気持ちを高め、学習意欲の向上につなげられるよう指導していきたい。